

工業つ子

NO. 046
一発行日—
2010. 08. 09
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部



▲ひたすら作業。

▲前面が解体された車…
◀点検よ——し！

ものづくり大会 in 九州 自動車整備部門 全国大会へ！



▶冷静に分析。

「ま・じ・め」
皆さんはご存知でしょうか。新聞部ではこのスペースを「まじめな文」と呼んでいることを、どなたかあることを、必ず定位置に「どーん！」と居座って決まった人が書いています。私が一年生で新聞部に入部したときには存在し、先輩から代々受け継がれてきたこのまじめな文。歴代の先輩方の素晴らしい文章に比べ、読み返せば恥ずかしさのあまり紙を破くほど

の私の文。しかし、時々先生方からお褒めの言葉を頂くことがあります。その言葉のおかげで逃げ出さなくなる思いに耐えて、今でもパソコンの前で座っていられます。さて、今回は「まじめ」について。「まじめ」とは「嘘やい加減なところがなく、真剣であること。誠実であること。」しかし、時々感じる「まじめ」の落とし穴。何にでも「まじめ」であろうとする時、うっかり周りに受け入れられるこ

七月十七日と十八日の二日間、熊本県でものづくりの九州大会が行われました。ついに新聞部が県外への取材ができました！ここまでの道のりは長かったです。長工からは電子回路組み立て部門にD2堀江君、自動車整備部門にP3岩崎君、化学分析部門にC2山村君の三人が出場。熊本についていた時には既に競技が始まっていたので、試合前に話を聞くことは叶わなかったものの、試合の様子などがパッチリと取材することができました。まずは自動車整備部門から！

自動車整備部門

自動車整備部門の会場は熊本工業専門学校。整備会場は外というところで、暑い日差しが照りつけるなかでの競技。ほんの数十分で危うく干からびるところでした。選手達はそれぞれの課題ごとにあ

いだを衝立で仕切ったスペースで作業をしています。到着して数十分後に岩崎君は終了。終わってからの彼はリラックスしているようでした。結果は無事に最優秀賞。見事に全国大会への切符を手に入れました。大会終了後に話を伺うと「熱かったので汗だらだら。最初は体が動かなかった。課題は県のほうがレベルが高かったので冷静に頑張った」とのことでした。先生からも「勝負事は最後までわからないが本人達がよく頑張った」ということでもした。岩崎君は若年者ものづくり大会にも出場。大会での活躍も楽しみにです。

化学分析部門

化学分析部門の会場は熊本県立玉名工業高校の一室。やはり、静寂に包まれている室内。取材は室内に入るには禁止でしたが、外からでも十分わかる静けさでした。最初、外からみていたときにまじめな調子でいいという先生の話でしたが、勝負とは分らないもので結果は入賞できず…。無念の結果となり

電子回路

組み立て部門

電子回路組み立て部門の会場は熊本県立玉名工業高校の一室。部屋の前には見本として作品が置いてあり、実際に触れることが出来ました。部屋の中では、静かにライバルと競い合う堀江君の姿。中で撮影をさせていた松尾先生(D科)に話を伺うと、どうやらトラブ

熊本のおいしそうな空



本音がぼろり！

育友会と生徒の懇談会

七月二十一日、今年も「育友会と生徒の懇談会」がL.L教室でありました。参加者は保護者の方十名と各科二名十新聞部三名の生徒十九名。最初の議題は「携帯電話とパソコンの利用について」。ほとんどの生徒が携帯電話を持っていないが、なかには、必要のないので持たない生徒も保護者の方達からは、連絡以外の利用法や一ヶ月の使用料金等の質問がありました。利用法はメールやブログ、調べ物など



▲耳を傾ける保護者の皆さん



▲まさかのエレベーター

おわりに

ものづくりに関わったみなさん、お疲れさまでした。ところで皆さん、玉名工業高校でまさかの発見をしました。なんと、四階建てなのにエレベーターがないんです。ええええ、と驚きました。そして、何処の空でも入道雲は美味しそう！



青春日記

夏休みに入りました。毎日暑いですが、夏休みに入ると時間がたくさんあって、いろいろ思うところがあります。そう思っていたのですが、ありませぬ。新聞の発行は八月九日。印刷予定日は六日。ペリーハーブドスケジューリングです。ピアノで遊ぶ演奏する時間はまったくなくなりました。残念。しかし、新たな発見がありました。それは折り紙。何故か最初からデパートのフロアに挑戦。教えてもらいながらも完成。才能があるかもしれませぬ。続いてツル。一枚の紙で四羽が繋がったツルもここまで折れたらもう一人前と言ってもいいでしょう。めっちゃ才能あるかも！知れませんが、夏といえれば花火。花火といえれば浴衣、甚平さん。今年は僕も甚平を着て花火を見よう！そう思いました。思い立ったが吉日。さっそく甚平を買いにいきました。店に入り、目指すは浴衣コーナー。次の話題は学校での昼食について。自分で作って持ってくるという人もいて、親任せの私は感心してしまいました。そんな若草未熟な私には真似できません。その後話題は家での手伝いについて。特に三年生の先輩方は家での手伝いの後、お風呂の掃除を聞いてみると、やはり一人暮らしに向けての練習をかねて手伝いの役割分担をもち、頑張っていました。最後に聞かれたのが学校への要望。エアコンや昼休みの呼び出しの時間、部室等につ

ナー一直線。迷わず甚平を選びレジへ。甚平グッズだぜ！
港祭り当日。ノリノリで甚平に着替え、鏡の前に立つと、違和感。あれっこれは…「作務衣」でした。全然甚平じゃないです。鏡の中の自分は完全に職人、お寺の小坊主でした。これでは恥ずかしい。絶対にまずい。結局着替えて行きました。来年こそは甚平で花火を見たいと思います。みなさんも何か買うときは慎重に。念には念を、さあ買うぞ、レジの前で再確認！

三年生の夏休みはいつもと大きく違いました。就職補習に資格試験の補習、土日には溶接研修会、ドイツ研修、その上毎日のようにある部活など、スケジュールに空きがありません。きついです。忙しいということはその分たくさん得るものがあるという事です。すでに得たものもいくつかにあります。

三年生のみなさん。高校生活最後の夏休み、皆さんの思い出や社会に出るための力を手に入れたい！夏休みを送りましょう！！

いて要望が出ていました。叶えられない日が来るという事です。自分の親とはまた違った育友会の方達との話し合いができ、普段接することがない他学年や他学科の生徒の意見も聞くことができました。違う親でも自分の子どもに対する考えはどれも似ていると感じました。ときには面白い発言等もあり、楽しかったです。二時間あまりでした。

なお、この日の昼食は育友会から。生徒が注文したお弁当の中で一番人気はチキン南蛮でした。

六月十七日に高校生ものづくり県大会が行われました。六部門に出場。もちろん新聞部も取材に参加。取材内容をまとめました。それではどうぞ。

電子回路 組み立て部門

電子回路組み立て部門は島原工業高校で行われました。出場した選手はD2中島君・堀江君、J2永門君・大友君の四人。到着した時にはすでに始まっていて、静かな雰囲気と選手たちの熱気がこもった室内で、黙々と作業していました。そばで見守っていた先生方に話を聞くと「なかなか」とのこと。しかし、終了の合図があった時にびっくりというな

化学分析部門

化学分析にはC2山村君・井本君・谷川さんの三人が出場。競技中は静寂に包まれており、新聞部も慎重に撮影。全員が同じような白衣姿で見分けが付かず、長工生を確認してから撮影。競技終了後に選手に取材するといつも通りにできたの答え。しかし少し審査の味？二時間ほどの審査の後に閉会式。山村君が一位、

自動車 整備部門

自動車整備部門は長崎高等技術専門学校が会場。長工からはM3岩下君、P3岩崎君が出場。各選手たちは暑い中、一生懸命に手を動かして作業に取り組んでいました。その



悪いところはどこかなも狙えるとのこと。大会当日。会場は熱気がこもり選手達は汗だくでした。会場には、ノコギリを挽く音や釘を打つ音などが響き、いかにも「建築！」の雰囲気。結果は黒田君が二位に。惜しくも優勝は逃しましたがとても僅差で審査は作品の細部に及び小さな染みまで見られる大接戦でした。選手の方々、お疲れ様でした。

旋盤部門

旋盤競技の会場は島原工業高校。長工からはM3只熊君とP2高比良君が出場。大会前に二人に調子を探ねると「調子いいよ！九州大会を目指したい」（只熊君）「まあまあ。打倒、只熊先輩」（高比良君）

とのこと。指導されていた先生方の評価も割と良さそうなお雰囲気でした。さて大会当日。狭い室内の競技会場で選手はとも暑さで見ていた方も暑い一日でした。旋盤の競技制限時間は二時間半。中には作業が早く終わる選手も。長工の選手はどちらかというところ、じっくり型。競技終了後、「終わって！最初だけちょっと緊張した。」と話していた只熊くん。審査結果は二位：高比良くん。三位：只熊くん。

電気工事部門

島原工業高校で行われた電気工事部門。長工からはE3の瀬戸君と板壁君が出場。電気工事は壁汗を流し壁に向かう

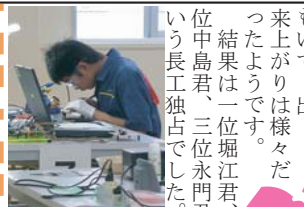
語りの広場 ラストサマー



悲しさがぬぐい切れませんが。新聞部は衝撃の事実を知らされました。「語りの広場」が取り壊されることになりました。本当にまさか！という事実です。一言で表すなら「もったいない」。何とか残すことができたのかとの検討もなされたようですが、そのためにはかなりのお金がかかること、無念の取り壊しの方向になったとか。去年卒業された先輩方におこなつたアンケートでは高校生活での思い出の場所、堂々の第二位。それだけにやはりとても残念なことですが平成四年に建てられた当初から二十年程度耐用年数とされてきたそうで建築から十八年目を迎えた現在、よく見てみると、シロアリに食われていたり、風雨にさらされて木材が腐ってしまったりと危険な状態にあるとのこと。現三年生と同じ年齢の「語りの広場」。建物の風化は長い年月を物語っていました。一、二月のうちに姿を消してしまいうような、最後に「一目見に行きたいときが過ぎようか。はいかがでしょうか。」

ものづくり県大会 三部門優勝

だれる選手もいて、出まがりがは様々だったようです。結果は一位堀江君、二位中島君、三位永門君という長工独占でした。



▲真剣モード

▼慎重な手つき、眼差し。



熱意はどこから来るのだろうと思うほど。真剣に点検や作業をおこなう姿には、ただただ圧倒されました。結果は岩崎君が最優秀賞。岩崎君は「岩下とはどっちが勝つてもおかしくなかったの勝つてもレベルの高い争いだったと分かりました。「あなたにとってもつ

木材加工部門

木材加工部門にはA3の黒田君と池田君が出場。大会二日前、調子や意気込みを聞くと「三針縫うケガをしたが大丈夫。優勝したい！」（黒田君）「調子いい。最高の作品を作る」（池田君）担当の先生も良い調子。優勝

アイルライフ

～太った??～



夏だ!!

さつそく

前日の夜

当日の朝

山だ!! 海だ!!

海水浴決定!

入らない!!

去年の水着を試着...

夏 数えて 数えよう

今回は暑い夏に必要な扇風機を数えました。扇風機は小さいものから大きいものまであり、置いてある場所も準備室、実習室と様々。広い場所では大型の工場用扇風機が活躍中!扇風機は主に実習室や準備室に多く、大きさは机に乗るレベルのものから背の高い物、果ては回る部分だけの物まで実習室などではクーラーと扇風機の二台体制も。準備室には足元用のものがあ、扇風機の知識が拡大。夏にクーラー



▲細かい作業。

作品持って 記念撮影



に配線を行う競技。定規でボードに線を引いたり取り付けを行ったりなどを素早くこなしていく姿に目を奪われました。結果は瀬戸君が二位となりました。審査に時間がかかっていたことや、チェックされた箇所の数も変わらず最後には審査員が懐中電灯まで取り出すという甲乙つけがたい出来映えだったようです。結果発表の後の選手はとも悔しそうで、話を聞ける雰囲気ではありませんでした。後日瀬戸君に話を聞いたところ「次は技能五輪入賞を目指して頑張りたいです」とのこと。みんながんばったで賞!

編集 後記

今回の発行は前回との間隔がとても狭いものとなりました。毎度暑いですが、次こそは計画的に